

正しい防蟻、防虫対策！！

090-8938-4016 : 0749-72-3908

白蟻蟻道の作り方知っていますか？
「シロアリの蟻道を見つけたら早急に駆除をしましょう」と煽る白蟻企業・・・
あれどうなのでしょうね・・・？

シロアリの蟻道は3分もあれば作ることが可能なのはご存じでしょうか？
意外と知らない人が多いと思いますが講習の際に作ってみましたので、
[こちらを参照して下さい。](http://s.ameblo.jp/kominka-gifu) <http://s.ameblo.jp/kominka-gifu>

シロアリの蟻道の写真だけを見せて「シロアリです」と断定する

白蟻施工業者にはには注意が必要です。

シロアリの蟻道は簡単に作ることが可能ですから・・・

必ず発生には「発生する根拠」があります。

それを導き出さず床下写真だけで断定するのは怪しいですね。

ちゃんと専門の伝統防除技士に診断して頂く事をお勧めします。

木材にはセルロースとヘミセルロースという成分が存在しています。

それらは木材腐朽菌子類の栄養源です。

木材腐朽菌子類とは、木材を腐らせる菌や、菌糸類、胞子カビなどの微生物の事を
言います。そこに栄養がある限り木材中の成分を吸い取り繁殖をつづけます。

彼らは太古の昔からこのような運動を続けこの地球上で生きてきました。

シロアリよりも先に木材に侵入するのはおそらくこの腐朽菌子類でしょう。

木材の成分であるセルロースやデンプン質を欲しがり、シロアリも同じくこの成分に誘引されて建物に寄ってきます。

代表的な木材腐朽菌子類をご紹介します。

【ナミダタケ】

土中に菌子を伸ばし土台の水分を吸い上げ、木材を湿しながら腐朽させます。

木材腐朽菌としては全国的に生息し特に代表的な腐朽菌子類です。

【白カビ】

菌子からなり、体を持つ菌類の事を総称して「カビ」と言います。

多くの場合、食中毒やアレルギーの原因となることもあります。

カビは有機物を分解し無機物に変える働きがありますが、無機物から有機物を形成する働きもあります。

【黒カビ】

主に土壌や食べ物にみられるカビです。

コウジカビなどと混同される事もありますが、クラドスポリウムのことを通称「黒カビ」と言います。菌糸にも色がついている為、コロニー全体が濃い色をしているのが特長です。

ポイント

建物の木材部に生えやすいカビは、空気中に飛散する胞子により起こる現象です。

しかしほとんどのカビが水分を必要とするため、水分を寄せ付けない環境造りが重要です。

* 2月22日シロアリ(床下検査)について講習会を開きます。

* 場所:彦根市福祉勤労会館2階会議室(午後1:00~3:30) 聞きに来て下さいね

* 最後に質疑応答の時間を取りますので、不思議な事や不安な事とかを話し合いましょう。



<古民家再生協会滋賀からのお知らせ>

シロアリが好む家は下記のような特長があります。

このような状態にならないようにすることが防虫対策で非常に重要です。

水分を多く含んだ木材

水分を多く含んでいる木を、シロアリは大変好みます。

具体的には、雨漏りが多くて壁や床、柱に水が染みている環境です。室内に水が入ってくるほどではなくても、外壁の僅かなヒビから壁材の中に水が入り込む事も有るので注意が必要です。

湿気の多い環境

湿気が多い家をシロアリは好みます。

特に周囲に川や池、井戸がある家は、地盤自体に含まれる水分が多いため、床下の地表から上ってくる湿度も当然多くなります。

通気性が悪い環境

床下の空間が狭かったり換気口が少ない場合、風の通りが悪くなり、空気の動きを嫌うシロアリにとっては住みやすい環境になってしまいます。

地面と木材が接している状態

木材が地べたに置いてあると、土の中のシロアリが外気に触れずに木材に直接たどり着く事が出来るため、たちまちシロアリの住みかとなってしまいます。特に基礎の近くに廃材を置くと、廃材から基礎へ基礎から構造部材へと侵入してしまいます。また、デザインとして、エントランスに木製の棚を立てたり、玄関へ続くアプローチ敷石のように木材を使用している家がありますが、これもまたシロアリがよって来やすくなります。

狭い庭にたくさんの盆栽や植木がある

シロアリが木材と木材の間を行き来しやすい環境となり、発生の危険があります。

直接雨の降り注ぐ植物や材木は、適度な湿気を含むため、シロアリにとっては絶好の住み家となってしまいます。

床下の土台や柱の被害

シロアリの被害例



壁内部の被害



床上の被害



<検査内容>

伝統防除技士は、一般社団法人住まい教育推進協会が認定する、シロアリなどを始めとした害虫診断をおこなうスペシャリストです。伝統構法の古民家を対象とし、調査家屋の複数ポイントの土壌を採取し調査をおこない、その後施工に関しても専門的立場より対応いたします。

伝統防除技士は、伝統防除技士講習会にて講習を受講し資格登録した方を対象とし、財団法人職業技能振興会認定の古民家鑑定士が実地する古民家の鑑定業務と連携し、シロアリ等の有無や浸食を診断いたします。

*** 古民家再生協会滋賀で床下インスペクション(検査)を始めました。**

お問い合わせ 050-3786-3179

<http://www.denboukyo.org/greeting>

